

京ちゃん宝塚に行く

京ちゃん一家が宝塚に行き、集会でプレゼンされるという。テーマは「通常学級でいきいきと 障害者権利条約と名古屋の課題」である。

できたての資料をもらい、じっくりと読ませてもらった。写真は資料の最初のページである。このように、堀田小学校に入学してからの写真が数多く掲載され、京ちゃんの楽しそうな学校生活がよくわかる。はじめて見る写真も多く、写真を繰り返し見た。

報告のスライドは次のように構成されている。「完全参加と平等 特別支援教育からインクルーシブ教育へ」

「障害者権利条約」「障害者が変わるのではなく健常者が変わるコミュニケーション」「学校とのコミュニケーション」「特別支援教育に注

意を払う」「学校生活での課題」である。最後は「”Now is a time!” 今でしょ!」で結ばれている。にくい終わり方だ。京ちゃん父に頼んで使わせてもらおう。

スライドに続く「地域の小学校、通常学級での生活～障がい児である前に一人の子ども」と題した年表も貴重な。

2011年4月から堀田小学校へ入学に至る道のり、入学後の課題など、「名古屋、愛知、日本全国みんなで頑張った年表」である。

このあとの京ちゃん母のレポートも、苦難の歴史が綴られており、読んでいるうちに思わず涙がこぼれてきた。いろいろ紹介したいが、ここでは「京ちゃんにとっての『安心・安全』な学校生活とは」の一部を取りあげよう。

「京香が入学してから二度目の春が来ました。新しい担任の先生、新しい校長先生。ワクワクドキドキで目も輝いています。入学してからの学校生活は『親の付き添い』を含んだ現状でした。京香の学校での生活が安定し、付き添いがなくなれば、私の身体にも次女の生活にも目が行きとどき、今より良い環境を作ってあげられる事ができるはずです。しかし、それが無い環境に追い詰められ、命を脅かす危険がありました。私たち家族の過度の負担は京香や私たちにとって命の危険と隣合わせです。----」

京ちゃんのご家族の厳しい「状況」が切々と伝わってくる。多くの人たちの支援により、改善されてきたようだが、まだまだ課題も多い。京ちゃんのご家族から学ぶことは多い。

(2015年4月12日)

